
第 247 号
2004 年 8 月 10 日

日 本 気 象 学 会

関 西 支 部 ニ ュ ー ス

2004 年度関西支部理事会報告		〒 540-0008
2004 年度関西支部総会・年会報告		大阪府中央区大手前 4 丁目 1-76
第 26 期第 1 回常任理事会報告		大阪合同庁舎第 4 号館
【重要】関西支部ニュースのホームページ利用による 経費削減について		大阪管区气象台内
【重要】関西支部の E-mail アドレスの変更について		日本気象学会関西支部
2004 年度関西支部例会・講演会開催のお知らせ		振替 00980-5-18318
関西支部第 26 回夏季大学報告		TEL (06)6949-6323
2004 年度関西支部調査研究奨励金の授与候補者の募集 結果について		FAX (06)6944-2121
2004 年度刊行物の販売について	ホームページ	http://webclub.kcom.ne.jp/ma/msj-knsi/
バックナンバー情報	E-mail	msjknsi@ma.kcom.ne.jp

2004 年度関西支部理事会報告

2004 年度総会に先立ち、理事会が 6 月 19 日（土）10 時 40 分から大阪府中央区天満橋にある大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）の 4 階中会議室で開催されました。柏木支部長の挨拶の後、異動等による役員の補充と第 26 期の役員選挙結果の報告、第 25 期常任理事・地区理事・幹事及び、第 26 期役員の紹介があり、2003 年度総会での規約改正による常任理事増員の報告があわせて説明されました。総会資料の検討では、2003 年度の事業報告・会計報告と、2004 年度の事業計画・予算案について議論が行われました。この中で、2003 年度に特別支出として 50 周年記念事業があったものの、近年繰越金が大幅に減少していることが説明された。今後の経費削減や学会員確保、テキスト等物品販売での値上げ等が検討され、財政の立て直しを今後の課題としました。関西支部調査研究奨励金については、2003 年度に藤本慶信会員に授与されたことが報告されました。一方で、今後は調査研究奨励金に割り当てる利子収入がほとんど見込めないことから、奨励金の取り崩しの方向性について議論されました。また、来年度に神戸大学で開催予定の気象学会秋季大会にむけて、実行委員会の設置について確認しました。

2004 年度関西支部総会・年会報告

2004 年度関西支部総会は、6 月 19 日（土）13 時から大阪府立女性総合センター大会議室で開催されました。当日の出席者は 29 名、委任状は 312 名となり、通常会員総数の過半数という規約上の条件を満たし、総会は成立しました。4 月期の異動により新しく支部長に就任した柏木支部長の挨拶、同じく補充された理事、幹事等の役員の紹介があり、その後、議長に向川均会員（京都大学）を選出して議事に入りました。2003 年度の事業報告、会計報告、会計監査報告がなされた後、2004 年度の事業計画案と予算案が審議され原案どおり承認されました。

2004年度事業計画では、2005年度秋季大会実行委員会(仮称)の設置が認められたことから、早々に設置して所要の準備に取り掛かることになりました。また、会員から、教育の分野で気象知識の啓蒙活動に積極的に取り組み成果を上げている会員がいる。このような取り組みをしている個人や教育機関等の団体についても関西支部調査研究奨励金の助成対象にする必要があるのではないかという提案がありました。このことは本部でも取り上げていることなので常任理事会で検討することになりました。

議事終了後、第26期役員選挙の結果の報告と役員の紹介がされました。昨年、関西支部規約が改正され常任理事は6名から7名に増員されています。

総会の後、同じ会場で年会が開催され、井口敬雄会員(京都大学)を座長に6題の研究発表が行われました。詳しくは「2004年度関西支部年会講演予稿集」をご覧ください。参加者は40名で活発な意見交換が行われています。

第26期第1回常任理事会報告

2004年7月20日に開催され、以下の議題について報告及び討議を行いました。

理事会、総会、年会報告について
第26回夏季大会について
支部ニュース第247号の発行予定について
関西支部財政状況について
その他

第26期の役員の任務分担について
近畿・中国・四国地区例会・講演会予定について
2005年秋季大会実行委員会の設置について
関西支部調査研究奨励金授与対象について

2004年度の役員の任務分担は次のとおりです。

[常任理事]

- ・ 支部長 柏木啓一(大阪管区气象台)
- ・ 研究発表担当 山中大学(神戸大学)、石川裕彦(京都大学)
小西啓之(大阪教育大学)、山本二郎(大阪管区气象台)
- ・ 会計担当 渡辺志伸(大阪管区气象台)
- ・ 研究奨励担当 山中大学(神戸大学)、山本二郎(大阪管区气象台)
- ・ 夏季大会担当 山中大学(神戸大学)、石川裕彦(京都大学)
小西啓之(大阪教育大学)、高橋清和(大阪管区气象台)
- ・ 庶務担当 山本二郎(大阪管区气象台)、高橋清和(大阪管区气象台)

[地区理事]

- ・ 近畿地区 友村光秀(日本気象協会)、内野 修(神戸海洋气象台)
- ・ 中国地区 加藤内蔵進(岡山大学)、鈴木康夫(広島地方气象台)
- ・ 四国地区 森 征洋(香川大学)、角田豊吉(高松地方气象台)

[会計監査]

真中朋久(日本気象協会)

[幹 事]

堀之内武(京都大学)、中嶋哲二(大阪管区气象台)、神野正樹(大阪管区气象台)

関西支部ニュースのホームページ利用による経費削減について

会員の皆様には 2003 年度会計報告で関西支部の財政が次第に厳しい状況となってきたことについて説明しました。2003 年度決算は総支出が総収入を 20 万円あまり上回っており、この傾向はここ何年も続いています。このままの状態では、繰越金が毎年減少してあと 5 年程度で、赤字財政となる見込みです。常任理事会では、危機感をもって改善策を検討してまいりました。収入の増加については会員数を増やすことが重要であり、いろいろな機会を捉えて入会勧誘をしているところですが、これといった妙案がなく減少への歯止めがかからない事態となっています。一方、支出については従来から効率化を図っているところですが、さらに一層の効率化を図っていく必要があります。特に支部ニュースの印刷費や郵送費が全体経費に大きな割合を占めており、その発行方法について見直して一層の削減を図ることを検討しました。その結果として、平成 17 年度発行分から、年 3 回の発行は現状どおりとしますが、原則として業者による印刷や郵送を廃止し、会員の皆様には関西支部ホームページに掲載される支部ニュースを閲覧して頂くこととします。但し、何らかの手段を用いても支部ホームページを閲覧できない会員については、従来どおり個別に郵送しますので、該当者は 9 月末日までに事務局に会員名と会員番号をご連絡ください。また、ホームページ利用者についても、必要に応じて、メールで支部ニュースの発行を通知しますので、希望者は 9 月末日までに事務局に会員名、会員番号とメールアドレスをご連絡ください。

なお、大多数の会員がホームページの利用に移行された場合、財政上、収入と支出のバランスが取れる見込みです。また、支部ニュースのホームページ掲載に当たっては、定められ発行日に定期的に発行することやメールアドレスの部外流出の防止対策等を実施する予定です。

会員の皆様にはご不便をお掛けしますが、学会財政の実情を勘案いただき、今回の措置についてご理解と協力をお願いします。

宛先：日本気象学会関西支部事務局

〒540-0008 大阪市中央区大手前 4 - 1 - 76 大阪合同庁舎 4 号館

大阪管区気象台技術部気候・調査課内 日本気象学会関西支部事務局

E-mail : msjknsi@ma.kcom.ne.jp TEL : 06-6949-6321 FAX : 06-6944-2121

参考：関西支部のホームページ <http://webclub.kcom.ne.jp/ma/msj-knsi>

【重要】関西支部の E-mail アドレスの変更について

関西支部の E-mail アドレスを 8 月 4 日に変更しました。これからは、関西支部への E-mail は新しいアドレスでお願いします。なお、新旧アドレスによる並行運用期間を設けていますが、2 週間程度の短期間ですのでご注意ください。

新しい E-mail アドレス : msjknsi@ma.kcom.ne.jp

2004 年度関西支部例会・講演会開催のお知らせ

2004 年度関西支部例会・講演会を次の日程で開催します。会員・非会員によらず多数ご参加ください。例会のプログラムは、関西支部のホームページへ掲載するとともに、「天気」の「支部だより」等でお知らせします。

第 1 回例会（中国地区）

開催期日	2004 年 11 月 6 日（土）10 時 30 分～17 時 00 分 （発表申込数によっては、開始、終了時刻が多少前後する可能性があります。もし、発表時刻が 10 時 30 分以前にあたると不都合の場合、申込時に御連絡下さい。）
例会会場 アクセス	岡山大学教育学部講義棟 1 F 5101 教室（岡山市津島中 3 - 1 - 1） 岡山駅西口から岡電バス「岡山理科大学」行に乗車、「岡大西門」、または「岡大東門」で下車（岡山大学から岡山駅西口へ向かう場合は、「岡大東門」から乗車。なお、「岡大東門」へはキャンパス外周を廻った後に到着します。また、バスの本数が少ない時間帯もありますので注意して下さい） 岡山駅東口から岡電バス「妙善寺」行に乗車、「岡大東門」で下車（「岡山理大」行よりも少し時間がかかりますが、本数は多くなっています） ＪＲ津山線「法界院」駅で下車 徒歩約 10 分。
テーマ	設定しない。
特別講演	講 師：木本昌秀氏（東京大学気候システム研究センター教授） 題 目：「地球温暖化と日本の天候」
特別イベントを企画中	詳細は未定。
例会発表申込締切日	2004 年 9 月 10 日（金）
要旨集原稿の締切日	2004 年 10 月 5 日（火）

第 2 回例会（四国地区）

開催期日	2004 年 11 月 26 日（金）13 時 00 分～17 時 00 分
例会会場 アクセス	香川大学教育学部第 4 会議室（香川県高松市幸町 1 - 1） ＪＲ高徳線「昭和町駅」下車徒歩 5 分。 バス；ＪＲ高松駅からコトデンバスで市民病院行き「宮脇町」下車徒歩 3 分、または大の場行き「幸町」下車徒歩 2 分。
テーマ	設定しない。
特別講演	講 師；大野久雄氏（気象研究所気象衛星・観測システム研究部長） 題 目；「激しいメソスケール現象について」
例会発表申込締切日	2004 年 9 月 24 日（金）
要旨集原稿の締切日	2004 年 10 月 22 日（金）

第 3 回例会（近畿地区）

開催期日	2005 年 2 月 22 日（火）10 時 00 分～17 時 30 分
例会会場 アクセス	神戸大学瀧川記念学術交流会館（神戸市灘区六甲台町） ＪＲ西日本六甲道駅、阪急電車六甲駅、阪神電車御影駅から市バスに乗車し、「神大文・理・農学部前」で下車。
テーマ	海洋と気象
特別講演	未定
例会発表申込締切日	2004 年 12 月 6 日（月）
要旨集原稿の締切日	2005 年 1 月 18 日（火）

発表の申込要領は以下のとおりです。多数の発表申込をお待ちしています。

申込先（例会・講演会担当：堀之内武幹事）

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学生存圏研究所 堀之内武

E-mail アドレス msjknsi@ma.kcom.ne.jp

申込方法 下記の書式で、郵便または電子メール（締切日必着）で申し込んで下さい。FAX、電話での申し込みは受付けていません。なお、ビデオおよびスライドでの発表はできません。

要旨集用の原稿作成の際は「日本気象学会関西支部予稿集・要旨集原稿作成要領」に従って下さい。原稿作成要領は関西支部のホームページ（<http://webclub.kcom.ne.jp/ma/msj-knsi/regular/genko.html>）でご覧になれます。ホームページをご覧になれない場合は、申込先にご請求ください。なお、所属は正式名称でお願いします。

要旨集用の原稿は発表申込先と同じ宛先に郵便でお送りください。

日本気象学会関西支部 2004 年度例会発表申込

第 回例会（ 地区）

- ・発表題目：
- ・氏名(フリガナ)と所属(発表者に*印・研究グループの場合はグループ名も)：
- ・使用機材(OHP、PCプロジェクター)：
- ・代表者氏名(連絡先)：
- ・連絡先住所：〒
- ・連絡先電話：TEL() FAX()
- ・連絡先 E-mail アドレス：

【旅費の助成について】

支部活動の主要な部分を占める例会・年会について、その活性化を図るため、発表者（支部会員のみ）を対象に、下記の「例会・年会旅費助成要領」に基づいて、旅費の助成を行っています。助成を希望される方は以下の要領でお申込ください。

申込先（庶務担当：山本二郎常任理事）

〒540-0008 大阪市中央区大手前4 - 1 - 76 大阪合同庁舎4号館

大阪管区気象台技術部気候・調査課内 日本気象学会関西支部 山本二郎

E-mail : msjknsi@ma.kcom.ne.jp TEL : 06-6949-6321 FAX : 06-6944-2121

締切日 それぞれの年会・例会発表申込締切日

申込方法 次の書式で、郵便、FAXまたは電子メールで申し込んで下さい。

日本気象学会関西支部 2004 年度年会・例会旅費助成申込

年会または例会（例会の場合は地区名を含む）：

- ・発表題目：
- ・氏名(フリガナ)と所属(発表者に*印・研究グループの場合はグループ名も)：
- ・旅費(片道)の見積もり：
- ・代表者氏名(連絡先)：
- ・連絡先住所：〒
- ・連絡先電話：TEL() FAX()
- ・連絡先 E-mail アドレス：

例会・年会旅費助成要領

(目的)

- 1 日本気象学会関西支部が開催する例会・年会で発表する会員への旅費の助成を目的とする。

(資格等)

- 2 日本気象学会関西支部会員を対象とする。
- 3 支給は例会・年会ともに1題の発表につき1名とする。また、助成総額の上限は、例会・年会ともにそれぞれ3万円とする。
- 4 個々の支給は、原則として片道旅費が5千円を超えるものを対象とし、上限を1万円として片道旅費を助成する(千円未満は四捨五入)。ただし、応募者が多い場合は減額されることがある。
- 5 助成を受けた者は当該年度に限り応募できないものとする。

(手続き)

- 6 助成希望者は、発表の申し込み時に、旅費の見積もりとともに事務局に申請するものとする。書式は支部ニュースで知らせる。
- 7 常任理事会は助成者を決定するが、応募者が多い場合などには地区理事に調整を依頼する場合がある。

(義務等)

- 8 助成を受けた者は、当該例会・年会で発表するものとする。

(雑則)

- 9 その他必要なことは常任理事会で協議し決定する。

(付則)

この要領は平成13年6月23日から施行する。

関西支部第26回夏季大学報告

関西支部第26回夏季大学を、2004年8月1日(日)と2日(月)の2日間、神戸大学瀧川記念学术交流会館において、大阪管区気象台及び日本気象協会の後援で開催しました。台風第10号の接近により、開催が危ぶまれる可能性もありましたが、無事開催できました。

今回は「身近な気象学」をテーマとして、木村龍治氏(放送大学)による「実験による気象の理解」、小西啓之氏(大阪教育大学)による「大阪で観測した大雨とひょうの話」、南利幸氏(日本気象協会)による「身近な天気予報」、前田豊氏(気象予報士、元大阪管区気象台)による「天気予報実習」の4講義を実施しました。受講者は71名(1日目65名、2日目58名)で、学生から70歳代の方まで幅広い年齢層の方々が参加され盛況に行われました。

講義は、百聞は一見にしかず実験を行って目で見る気象現象の理解について、実際に大阪であった顕著な気象現象について、そして気象情報の作成サイドと広報サイドという2つの視点からの話について、それぞれとても興味深い講義になりました。講師の方が専門分野について、さまざまな面からの豊富な話題に画像もまじえてわかりやすく話していただき、質疑応答は時間が足りなくなるほど活発に行われました。天気予報実習では、助手役のスタッフが受講者の間をまわりながら質問、疑問等に丁寧に応じました。実習の資料とした数値予報資料は情報が満載されており、初めての方には多少戸惑いもあったようですが、全員の方が気象予報士をめざして真剣に取り組んでいました。

最後に、多大な協力をいただいた後援の機関、講義いただいた講師の方々、会場設営からこまごまとした雑用まで献身的な支援をいただいた神戸大学と(財)日本気象協会関西支社の関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

2004 年度関西支部調査研究奨励金の授与候補者の募集結果について

支部ニュース第245号で2004年度関西支部調査研究奨励金候補者を募集していましたが、募集期限の4月23日(金)までに応募や推薦はありませんでした。同奨励金は会員の推薦や応募に基づいて常任理事会で選考し、6万円の奨励金が授与されるもので、関西支部に所属する会員で、調査・研究を精力的に行っている人や学校教育を通じて気象学の知識普及に努力されている人などで、研究環境にあまり恵まれていない人を助成するために設けられています。2004年度内は引き続き応募や推薦を受け付けますので、積極的な応募や推薦をお願いします。

応募や推薦はA4判用紙に以下の事項を記入のうえ事務局まで送付してください。

1. 受領候補者の氏名、印、生年月日、勤務先及び連絡先(住所と電話番号)
2. 研究題目、内容
3. 受領候補者の略歴
4. 推薦者の氏名、印、勤務先及び連絡先

なお、受領者は規定により、研究内容について年会、例会、又は日本気象学会大会で発表していただきます。

2004 年度刊行物の販売について

関西支部の今年度の刊行物は次のとおりです。

・第26回夏季大学テキスト「身近な気象学」		既刊	600円
・2004年度 関西支部年会講演予稿集		既刊	600円
・2004年度 関西支部例会講演要旨集 第103号(岡山開催)	2004年11月上旬刊行予定		600円
・2004年度 関西支部例会講演要旨集 第104号(高松開催)	2004年11月下旬刊行予定		600円
・2004年度 関西支部例会講演要旨集 第105号(神戸開催)	2005年2月下旬刊行予定		600円

これらの刊行物の購入を希望される方は、事務局まで下記の書式で郵便、FAXまたは電子メールでお申ください。印刷部数には限りがありますので、部数切れになる場合があることを予めご了承ください。なお、郵送を希望される方は、送付時に同封する郵便振替用紙にて送料を含む代金をお支払いください。

日本気象学会関西支部予稿集・要旨集等申込書

- ・氏名または団体名： 代表者()
- ・送付先住所：〒
- ・連絡先電話：TEL() FAX()
- ・連絡先E-mailアドレス：
- ・刊行物名と申込部数：
 - ・年会講演予稿集 部
 - ・例会講演要旨集 第 号 部
 - ・第26回夏季大学テキスト 部
- ・受取方法 (郵送 / 事務局手渡し)

バックナンバー情報

既刊行物のバックナンバーは以下のとおりです。

<夏季大学テキスト> (括弧内は残部)

18回 1996年 気象・気候の科学 - 見る, 聞く, 世界の気象(41)

19回 1997年 天気変化の仕組みと新しい天気予報(0)

- 20回 1998年 日本に影響を及ぼす熱帯の気象 - 台風・エルニーニョ現象・モンスーン(11)
- 21回 1999年 大雨と災害(0)
- 22回 2000年 リモートセンシングと気象(0)
- 23回 2001年 気候変動(180)
- 24回 2002年 生活と気象(170)
- 25回 2003年 ~雨~(116)

< 年会講演予稿集 > (括弧内は残部)

1992年(1)	1993年(0)	1994年(0)	1995年(0)	1996年(32)
1997年(0)	1998年(0)	1999年(4)	2000年(30)	2001年(21)
2002年(32)	2003年(32)	2004年(45)		

< 例会講演要旨集 > (括弧内は残部)

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 73回四国(局地気象と中小規模現象)(6) | 74回近畿(海洋気象学会と共催)(海洋と気象)(2) |
| 75回近畿(大気組成・物質輸送・総観気象)(62) | 76回四国(局地気象・中小規模現象)(56) |
| 77回中国(中小規模現象)(54) | 78回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(61) |
| 79回近畿(中小規模現象)(21) | 80回四国(局地気象)(32) |
| 81回中国(中小規模現象と局地気象)(30) | 82回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(32) |
| 83回中国例会(15) | 84回近畿(地球規模の気候変動と局地気候)(9) |
| 85回四国(局地気象・中小規模現象)(19) | 86回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(19) |
| 87回近畿(西日本における最近の台風・豪雨)(5) | 88回中国例会(15) |
| 89回四国(局地気象・中小規模現象)(19) | 90回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(0) |
| 91回四国例会(27) | 92回中国例会(4) |
| 93回近畿(海洋気象学会と共催)(4) | 94回中国例会(36) |
| 95回四国例会(53) | 96回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(13) |
| 97回中国例会(17) | 98回四国例会(39) |
| 99回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(22) | 100回中国例会(40) |
| 101回四国例会(局地気象・中小規模現象)(37) | 102回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(25) |

バックナンバー御希望の方は事務局まで、下記様式により、郵便または手渡し、FAXあるいは電子メールでお申し込みください。バックナンバーの郵送を希望された場合、代金(400円、送料別)はバックナンバー送付時に同封する郵便振替用紙にてお支払い下さい。

(バックナンバー用)

日本気象学会関西支部予稿集・要旨集等申込書

- ・氏名または団体名: _____ 代表者(_____)
- ・送付先住所: 〒 _____
- ・連絡先電話: TEL(_____) FAX(_____)
- ・連絡先E-mail アドレス: _____
- ・刊行物名と申込部数:
 - ・ _____ 年度年会講演予稿集 _____ 部
 - ・ _____ 例会講演要旨集 第 _____ 号 _____ 部
 - ・ 第 _____ 回夏季大学テキスト _____ 部
- ・受取方法 (郵送 / 事務局手渡し)